



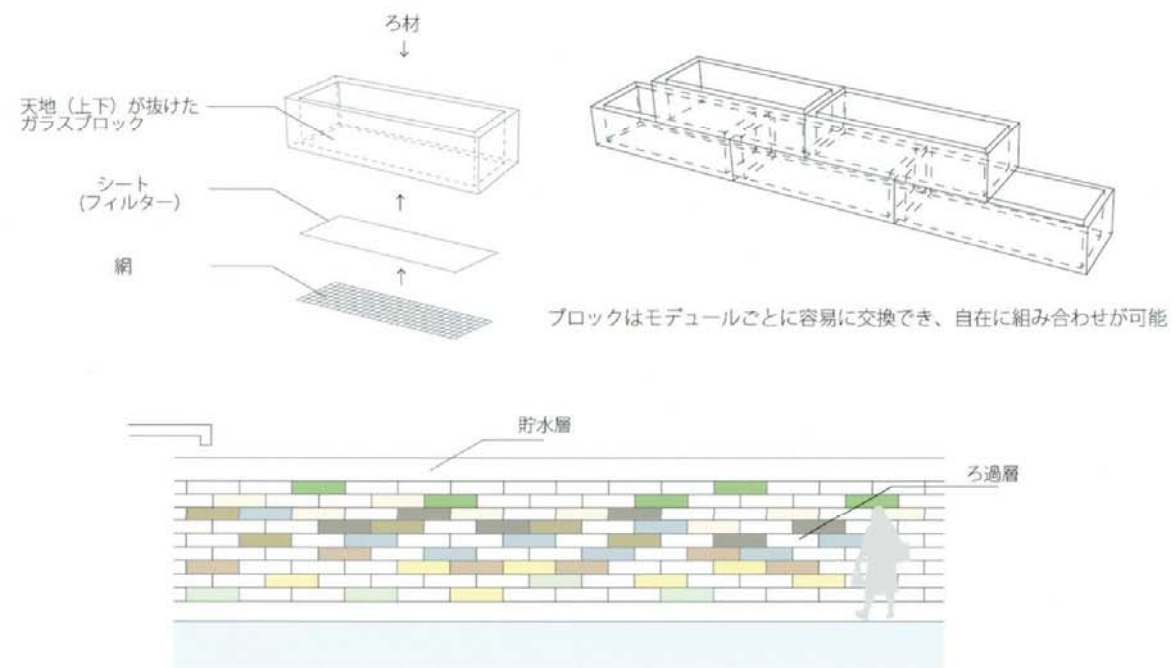
## Glass Wall Filter

水の豊かな日本にいと苦労することなく安全な水が手に入る。しかし、アジア・アフリカ・中南米を中心に、世界の3分の1で深刻な水問題に直面している。人口の急増や産業の急速な発展による水不足とともに、途上国では汚れた水を飲まざるをえない状況である。途上国における疾病原因の80%は汚れた水が原因とされる病気で、子どもたちが8秒に一人ずつ死亡しているという。より安全できれいな水を確保することが非常に重要になっているのである。



そこで今回提案するのが、ガラスを用いた緩式濾過のウォールである。上下にフィルターをつけたガラスブロックの中に炭や小石、腐葉土、さまざまな色やサイズのガラスの粒を入れ、層をつくる。そこを水が通り抜けていくことによって浄化されていく仕組みである。場所によって多様な壁の構成が考えられ、小さな地域単位での設置も考えられるだろう。

水のろ過を「見える化」することで、このガラスウォールは安全な水の大切さを伝える場として機能し、また、人々が集まる水のコミュニティ空間となる。



ろ過層にはさまざまなろ材が入り、壁を彩る。川や池などからひいた水はろ過層を通り、浄化される。ろ材のないところでは水が流れるのが見え、透明感があるウォールに人が集まる。



ろ材には、自然から採れるものを使う。また、リサイクルビンなどのガラス片やガラスパウダーなどが、陽を受けてきらめく